

55周年を迎えて

新たな年、2020年。

今年、ユニティガードシステムはおかげさまで55周年を迎えます。これまでの歩みを支えて下さった全ての皆様に対して、現場を支え続けて下さる皆様に対して、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、21世紀に入って既に20年となる今年、55年という時の重みと同時に、時の流れの早さを感じずにはられません。今、世界における変化の早さは、まさに激動と呼ぶにふさわしく、一層加速していることを感じる方も多いのではないのでしょうか。

加速といえば、今年次世代通信5Gも本格化します。これは今までの4Gに比べ通信速度で100倍とも言われています。こうした通信の加速は、AI(人工知能)やロボットの普及にも弾みをつけ、世界の変化を更に早めることでしょう。

一方、このような変化を見て、人間の仕事がAIやロボットに代替される時代が来ると考える人々もいます。事実、お掃除ロボットや警備ロボットは既に販売が開始され、徐々に普及しています。果たして、人間がAIやロボットに次々と置き換えられていく、そのような時代が本当に来るのでしょうか。

一体、このような時代の変化は、私たちに何に気づけ、何をせよと呼びかけているのでしょうか。その答えを知る手がかりとして、私が師事する高橋佳子氏の新著『自分を知る力—暗示の帽子の謎を解く(三宝出版)』のことはお伝えしたいと思います。同書の土台には、人間の本质は大いなる存在との絆に結ばれた「魂」であり、魂は永遠をかけて成長してゆくという人間観、世界観があります。現代の科学的合理主義とも呼ばれる

考え方の中では、人間も物質的な存在に過ぎず、人工知能がいつかは人間を凌駕すると考える人々もいます。しかし、同書の観点に立てば、それは私たち人間の内側にある叡智と可能性を無視した発想であることに気づかされます。自分を知ることは、人間を知り、世界を知ることであり、この変化の時代に主導権を持って向きあう鍵であることが実感されることと思います。激動の今こそ、自分を知り、主導権を取り戻し、皆様と共に道を切りひらいてまいりたいと願います。



代表取締役社長 八木 陽一郎

